

金沢市地域コミュニティ活性化推進計画 2023（仮称）骨子案について

1 金沢市地域コミュニティ活性化推進計画 2023（仮称）の概要

① 策定の背景と目的

- ・現在の計画は、地域コミュニティの醸成と充実を図るため、平成 29 年 3 月に制定した「金沢市地域コミュニティ活性化推進条例（略称）」に基づき、地域コミュニティの活性化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため策定したものである。
- ・地域コミュニティは、住民相互の交流や地域の連帯意識の醸成だけでなく、子育てや高齢者等への生活支援、災害時における安否確認等の共助のために必要不可欠なものであり、その重要性は一層増している。
- ・しかしながら、少子高齢化による活動の担い手減少や単身世帯の増加等によるライフスタイルの変化、新型コロナウイルスの感染拡大による活動の制約などにより、大きな課題に直面している。
- ・これらの課題に対応するため、計画期間の満了を前に、第 2 次の「金沢市地域コミュニティ活性化推進計画 2023（仮称）」を策定する。

② 計画期間

令和 5 年度から令和 9 年度の 5 年間

③ 計画の位置づけ

「世界の交流拠点都市金沢 重点戦略計画」の分野別の計画の一つである「金沢市協働推進計画 2021」の趣旨を踏まえ、「金沢市地域コミュニティ活性化推進条例」に基づき、地域コミュニティに焦点を当てた計画

2 地域コミュニティの現状と課題

本市の現状

町会長アンケート
実施：令和 4 年 7～8 月

- ・役員の高齢化や担い手不足が深刻
- ・活動の負担軽減や若い世代の参加が望まれている
- ・新型コロナウイルス感染拡大により活動が減少

社会情勢の変化

- ・人口減少、高齢化の進展
- ・価値観やライフスタイルの変化
- ・新型コロナウイルス感染拡大による新たな生活様式への対応

総務省報告書

有識者研究会報告書
公表：令和 4 年 4 月

- ・地域活動のデジタル化
- ・自治会等の活動の持続可能性向上
- ・地域コミュニティの様々な主体間の連携

【課題】

（1）地域住民の町会活動に対する関心が低下するなど、住民相互のつながりが希薄化している。

（2）町会役員の高齢化が進行するとともに、若年世代の地域参加が少なく、町会運営の担い手が不足している。

（3）新型コロナウイルスの感染拡大等により、町会活動が停滞している。

（4）様々な地域団体や組織との連携を望む声は多いが、実際に連携できている町会は少ない。

3 めざす姿と基本方針

【めざす姿】

地域に誇りと愛着を持ち、多様な主体が参加・協力してまちづくりに取り組む持続可能な地域コミュニティ

【基本方針】

【基本方針 1】 地域コミュニティの醸成

市民が自らの地域に誇りと愛着を持ち、金沢独自の地域コミュニティに対して理解を深めるとともに、住民相互の連帯意識の高揚と地域活動への参加を促進し、地域コミュニティの醸成を図ります。

【基本方針 2】 コミュニティ組織の持続可能性向上

新たな担い手の発掘・育成を支援するとともに、若い世代などが参加しやすいよう、コミュニティ組織の運営の効率化や負担軽減を図るほか、安定した運営を支援し、コミュニティ組織の持続可能性の向上に取り組みます。

【基本方針 3】 コミュニティ活動のさらなる活性化

地域の実情に応じた自主的な活動を支援するとともに、情報発信などデジタルを活用した活動を促進するほか、若者、女性など多様な住民の活動参加を促進し、コミュニティ活動のさらなる活性化を図ります。

【基本方針 4】 多様な主体との連携促進

多様化・複雑化する地域課題の解決や地域コミュニティの活性化を図るため、町会その他の地域団体、NPO 等の市民活動団体、事業者、学生、行政など、地域を支える多様な主体間の連携を促進します。

4 基本方針に基づく施策の方向性

